

よ、ちか、こ、り、ん、ご、ん、ご、ん、ご、ん、ご、ん



はじめに

愛知県では、「命を大切に
する人権尊重社会づくり事業」において、人権に関する学習
機会の充実方策等についてのモデル事業を実施し、その成果を
県内全域に人権教育情報として発信・啓発しています。

刈谷市は、平成23年度に愛知県から事業委託を受け、刈谷市「命・個を大切に
する人づくり」実行委員会を組織し、主に「自分と他人の個性を大切にすること」
「人と違って大丈夫だと知ってもらうこと」をテーマに人権尊重の啓発、また、
命を大切にしようとする意識向上を目的として本冊子を作成しました。
本冊子では、子どもや大人の身近に存在する悩みを取り上げています。

平成23年12月

刈谷市「命・個を大切に
する人づくり」実行委員会

年長組のジロウ君。

最近、昼間にももうしきをするようになった。

それと同じ時期へぐいから、

幼稚園に行きたがらなくなった。

お母さんは子どもによく話を聞いたところ、

「先生との関係に問題があるのでは」

と悩むようになった。

先生に相談したいと思っただが、

「フレームを言うことになるのではないか」と思い、
相談できずにいた。

幼稚園で困ったことがあったら、悩みが大きくなる前に、
担任の先生や主任の先生、園長先生に相談しましょう。

どうしても先生に相談できないなら、

まずは相談できるところに相談し、お母さんが楽になって、
前に進むパワーを取り戻しましょう。

お母さんにも、子どもにも、

味方が一人でも多くいることが必要です。

ハナちゃんは、キフちゃんから

命令されることが多く、いやになっていた。

「帽子持っ」
「水筒持っ」
「私のか、」
「私のか」

でも、無視されたり、仲間はずれにされたりするのが心配で、
いやだとは言えなかった。

ハナちゃんはストレスがたまり、

家がわがままになったり、おもしろいをしたりするようになったり、
親が学校での出来事を知った。

ハナちゃんへ

キフちゃんに「いやだ」と言う。

この気持ちを伝えて、分かってもうえなかったら、
先生や他の友達に相談してみよう。

キフちゃんへ

自分ではそんなつもりじゃなくても、相手にしてみたら
いやな気持ちになる言葉や行動ってあるんだよ。

相手の立場に立って人を思いやれると、
本当に大切な友だちがでるはず。

弟のいるサブローウ君は、

なぜカイライイラするんことが多くなっていた。

学校では、自分より弱い「ロウ君を自分の都合でいじめたり、
自分が一人にならないように

やせたりしてたりしていた。

そんなサブローウ君がある時、隣のおばさんに

「お母さんに甘えたい」と聞かれ、
泣き出したのだ。

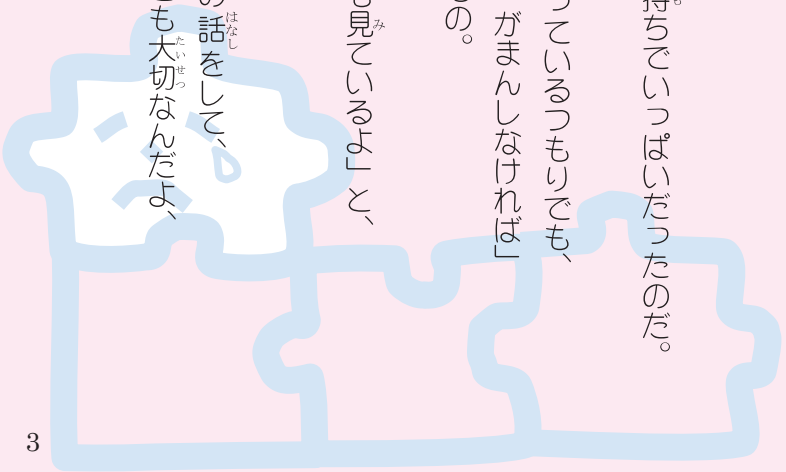
本当は寂しい、

お母さんに甘えたい気持ちでいっぱいだったのだ。

親が兄弟それぞれ同じ気持ちに關わっているつもりでも、
お兄ちゃんは「お兄ちゃんだから、がまんしなければ」
「弟の方が可愛いんだ」と思うもの。

お兄ちゃんを認め、ほめて「いつも見ているお姉」と、
言葉で伝えてあげることが大切。

また、お兄ちゃんに小さかった頃の話をして、
弟と同じお姉にお兄ちゃんのこと大切なんだよ、
こころのこころを伝えてみましょ。



ムツオ君は学校でクツを隠された。

よくいやがらせをしてくるナナオ君たちが
やったんじゃないか、と思って友達に相談した。

友達はナナオ君に聞いてくれた。

クツを隠したのはナナオ君ではなかった。

その後、思いもかけないことに・・・

ナナオ君を疑ったことについて、

結果的に「ムツオ君はうそをついた」と

言われてしまったのだ。

思い込んで失敗したり、間違ったりすることは誰だつてある。
それをうそつきって言われたら、悲しいよね。

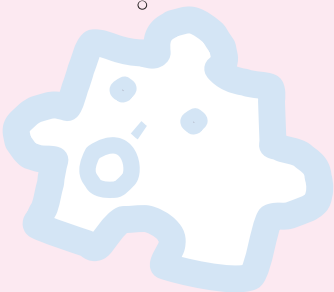
でも、疑われた人もきつこいやな思いをしたと思っ。

言葉って使い方一つで、人の心を傷つけてしまうもの。

今回の場合は、誰かを疑うのではな

「ムツオ君を探してこー!」と言っ

隠れてしまった子も、出



ウメちゃんはお母さんに相談した。

「お母さん！クリスマスに、私をたたいてくる子がいるの。
しよっちめっしゅ…。」

お母さんは、「やめなさい」とはもうきりきり言てくれなさい」
と言つたが、そのするだけじゃ、

ぜんぜんやめてくれない。

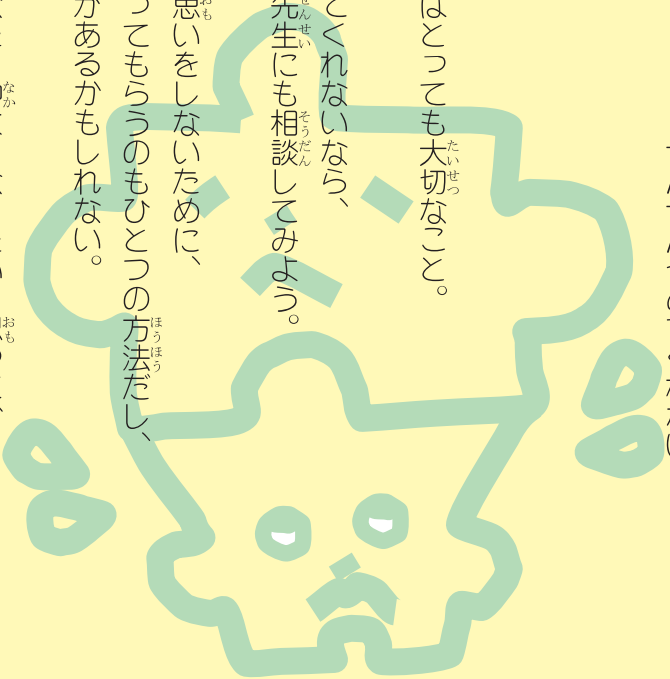
やめて！と言つてはとっても大切なこと。

でも、それでもやめてくれないなら、

お母さんだけでなく先生にも相談してみよう。

だれか他の子が同じ思いをしないために、
大人からその子に言ってもらうのもひとつの方法だし、
他にも解決する方法があるかもしれない。

本当は、その子、あなたと仲よくなりたいと思つて、
ちよっかいを出しているのかもしれないね。



シロウ君は数人の子に悪口を言われて、

からかわれていた。

そのまま数か月が経ち、

学校に行くことがイヤになってきたけれど、
そのことを誰にも言えなかった。

親に心配をかけたくなかったし、

学校で騒ぎになんかなりたくなかったから・・・

だまっているのはつらいよね。

一番よいのは「やめて」「いやだ」と言えなく。

でもそれが言えないとき、言ってもやめてくれないとき、
そのつらさを一人で抱えることはないんだよ。

親や先生、周りの大人を頼ることは、
少しも恥ずかしいことじゃないよ。

子どもの心配をするのが、親の仕事。
親は、子どもからいっぱい頼って欲しいんだよ。

ハチヤ君はいじめられていた。

親はそのことを知っていたけれど、

子どもに「何もしなごでー!」と言われ、

とくりあえぬさつとしておいた。

ハチヤ君はだんだん表情が暗くなり、

話をするのことも少なくなってきた。

子どもだけで解決させることも大事ですが、
そのレベルを超えたときは大人の助けが必要です。

子どもが親の助けをいやがっても、必要と思ったときは、
信念を持って、学校に相談するなど行動しましょう。

子どもを守るための行動は、

いつか我が子にちゃんと伝わります。

数人の子たちと一緒に、

軽い気持ちから一人の子を仲間はずれにした。

気づいたら、今度は自分が仲間はずれにされた。

「仲間はすれにすれ」と「仲間はすれにすれ」との

両方を経験して、

どちらかをみしいことを知っている。

「自分がされていやなことはしない」

と自分に言い聞かせて気をつける。

そして、誰かが困っていたら、気づいてあげたい。

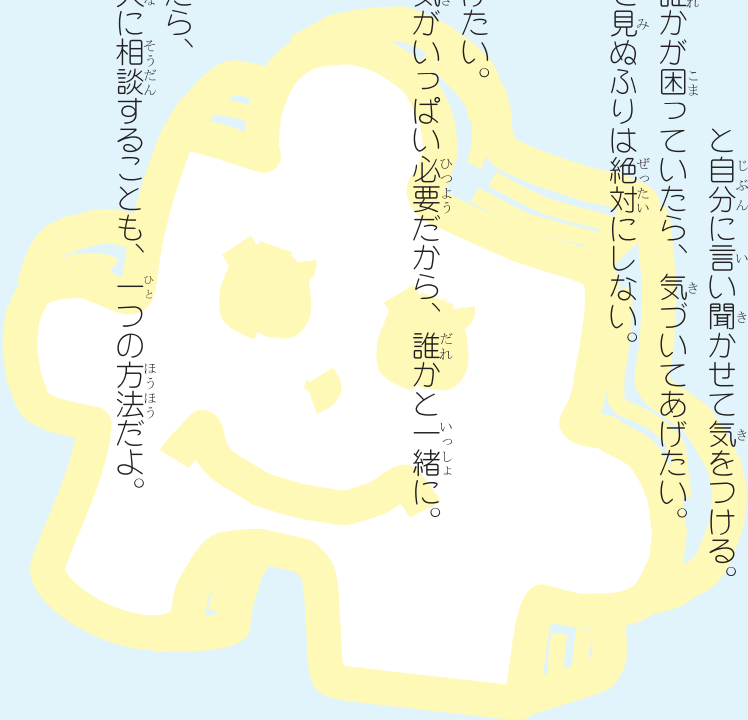
見て見ぬふりは絶対にしない。

助けてあげたい。

一人だと勇気がいっぱい必要だから、誰かと一緒に。

無理だと思ったら、

親や周りの大人に相談することも、一つの方法だよ。



私は、人と違う・・・

顔・体・・・

自分のきらいなところ、こっぴどめる。

周りは、私を変な眼で見ても、かげへちを言っている。

学校に行けなくなったら・・・

若い時は特に、顔や体に

コンプレックスを持ってしまっただよね。

どんなに美人でも、

自分の顔の気に入らないところ、あきらしいよ。

でも、人と違ったらいけない顔・体・性格・・・って、

あるの？

みんな、違うよ。

自分の良いところ、みがこつよ。

前向きに頑張っている人って、輝くんだよ。

自分の好きなところ、良いところ、

一しほつ増やしてみたりよ。



同級生の数人から、悪口メールが

届くようになった。

だんだんエスカレートして、

ネット上での書き込みがされるようになった。

学校や親に相談したら、親身になって話を聞いてくれた。

でも・・・もうダメ。

しらすぎて、がまんできなくて、学校にも行けない。

苦しい時間は長く、先が見えなくて、何もかもがいやになるよね。

形は違っても、そういって経験、思いを、意外とたくさんの方が味わっている。

そして、乗り越えて生きている。

生きることで、苦しみは過去のものになり、

その経験は人の助けになる時が来る。

私がそうだから、あなたもきっと・・・

本気で死ぬつもりはない・・・

けど、ふと気がつく

死ぬことを考えてしまってる。

私なんかどうなったっていいんだ。

このくらい、誰も分かってくれない・・・

死にたいと思っただことのある人、いるんじゃないかな。

この気持ちを誰も分かってくれない・・・

でも、分かってくれる人も、きっといるはず。

『生きていてくれてありがとう』『この言葉や気持ちがあなただけにもきこってもらえるはず。』

子どもをきびしいしつけだらけのことでしつけか・・・

子どもをかわいと思えないときがある。
生んだ責任があるから、頑張っているけれど。

手をあげたくなってしまう・・・

子どものしつけ、難しいですよね。

親だって、完璧な人間じゃない。人間、誰もが未完成。

だから、一人で難しく考えず、

だれかに協力してもらいましょ。

力が抜ければ、きつと自然に愛情が湧いてくると思いましょ。

しつけは、自分の知っている常識的なことを
教えてあげれば良いのです。

わが子が社会に出たときに、困らないために。

また、子どもの良いところ探しをしてみてください。

子どもの笑顔も増え、子育てが楽しくなる場合もあります。

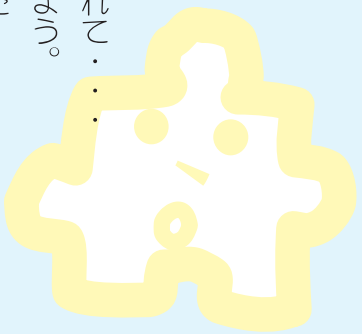
試してみてください。



子どもが学校で問題を起すことが多く、

先生からよく電話をももらひつゝ。

懇談会でも、子どものダメなところを言われて
最近、電話が鳴ると、ビクビクしてしまふ。
子どもに当たるとも多くなつた・・・



子どもの話をよく聞く。
先生に学校での様子を詳しく聞く。
自分の目で確かめる。

子どもが問題を起すことを心配する前に
親と先生が協力してこまめに話を聞いてあげますよ。

子どもは子どもで、ダメなことばかり言われても
どうしたら良いのか分からず、良くなるどころか
本人の自信と安定はゆらいでしまいます。

子どもも親も、自分を責めることなく、
互にこころをこころや良くてこころを
認めることも出来ないでいたれど。

「女には無理」と。

男性の多い職場で、仕事を任されて、
成果をあげればあげばよい、

あんなにも返してもうへず……

職場で一度は聞いたことがある言葉

「女だから……」

「若いから……」

「年をとっているから……」

……

性別・年齢・出身地・学歴・性格……

人は違つて当たり前。

違いが不平等に扱われ、そのことで被害を受ける、
いわゆる差別。

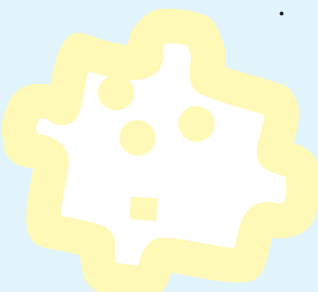
差別という言葉を知らない子どもでも、

「人を傷つけてはいけない」ことを知っている。

「違いを認め合うことの大切さ」を、
意識して、大人が手本を示さなければ。

それと……人との違いは

考え次第でパワーに変えられる。



四か月の子どもが泣く泣く泣か泣いて

抱いてもあやしても泣きやみません。

何を話しかけていいかもわかりません。

イライラしてパニックを起すようになります。

虐待にながってしまふのは、と心配で……

どついたらよいのかわからない中で、よく頑張っているね。

赤ちゃんはお腹がすいていないか、おむつはぬれていないか、虫さされなどないか、一通り確認してみてください。

何も無いのなら、もしかしたらお母さんの不安な気持ち
赤ちゃんに伝わっているのかもしれないですね。

そんなときは気を大きく持ち、深呼吸して

「大丈夫だよ。おかあさんがいるからね」と言って
やさしく抱いてあげましょ。

また、普段から赤ちゃんに話しかけてあげて。

お腹の中で聞いていた声だからきくと安心すると思います。

そして赤ちゃん同様お母さん自身も気分転換をしましょ。

リラックスできる場所、思いを話せる場所に参加したり……
同じような悩みを持つ人がいて、共感できると思います。

一歳の子どもが友だちと遊ぶべし

おのれの手を叩くことおぼやかし。

『ケンカ』せずに

仲良く遊ぶこともうたいたいのですが……

この頃の『ケンカ』は大人の見方であり、これは子どもが発達のひとつなんです。ううして子どもは育っていくのです。

もし気になるようなら

「おかあさんも一緒にあやまるからね」と言いつつふたりであやまってみよう。

そして

手を出すと言われたけど、

強くだいたり、つねったりするのですか？

子どもはよく大人のまねをします。

身近にいる家族がそうした行動をとっていないか一度振り返って確認してみてください。

答えが出るかもしれませんが。

○子どもの人権110番

電話番号 0120-007-110

相談受付日時 平日 午前8時30分から午後5時15分まで

「子どもの人権110番」は、子どもだけでなく大人も利用可能です。電話は最寄りの法務局・地方法務局につながり、相談は、法務局職員または人権擁護委員が受けます。

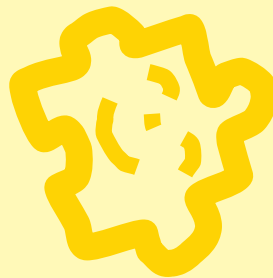
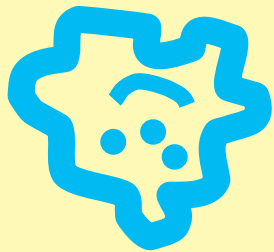
○子ども家庭110番

電話番号 052-953-4152

相談受付日時 毎日 午前9時から午後5時まで

「子ども家庭110番」は、子どもについての悩みをお持ちの方のための電話相談です。子ども本人からの悩みの相談にも応じています。電話相談員が相談に応じるほか、内容によっては、医師、弁護士、大学の先生などから助言を受けることができます。

命を大切に
する社会づくり



愛知県教育委員会生涯学習課委託事業
「命を大切にする人権尊重社会づくり事業」

愛知人権ファンクション委員会

...刈谷市「命・個を大切にする人づくり」実行委員会...

特定非営利活動法人 子武志

刈谷市人権擁護委員

刈谷市社会教育委員

刈谷市市民活動部市民安全課

刈谷市生涯学習部生涯学習課